2021年度　誓いの言葉

本日は私たち新入社員のためにこのような素晴らしい式を開催していただき、誠にありがとうございます。新入社員を代表し、心より御礼申し上げます。

ただいま、坂本社長から貴重なお言葉を頂戴し、感謝と感激で胸が熱くなるとともに、社会人として果たすべき責任の重さを感じ、身の引き締まる思いがいたします。本日賜りました激励のお言葉を心に刻み、業務に励んでまいりたいと決意を新たにしています。

今年の3月で東日本大震災から10年の月日が経ちました。震災当時、ライフラインが寸断され、復旧を待つまでの間、不安な日々が続いたことを覚えています。それと同時に、電気がついた時の安堵感は格別のもので、電気を届けてくれる人がいるからこそ普段通りの生活が成り立っていることを痛感しました。2月13日に福島県沖地震が発生し、震災から10年経った今でも予断を許さない状況が続いています。いつ起こるか分からない自然災害に対応できる技術力を身につけていくとともに、東北・新潟地域の方々の生活を支える自覚を持ち、発展に貢献してきた先輩方の伝統と精神を受け継ぎ責務を全うしなければならないとの思いを強くしました。

昨年4月に送配電部門の法的分離が実施され、電力業界は大きな変革期を迎えています。東北電力ネットワークとしても，東北・新潟の電力の安定供給を通じ、お客さまや地域から信頼されるとともに、一人ひとりが変革意識を持ち、様々なことに挑戦していくことが求められます。

また昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、人々の生活様式が大きく変化した激動の一年でもありました。コロナ禍で不安な日々が続くからこそ、より一層、地域の方の「あたりまえ」の毎日を「灯り」で支えることが大切だと考えております。

私は仙台電力センター配電技術サービス課の配属となりましたので、地域のお客さまの声を聞き、期待に「より、そう」ことができるよう、技術を身につけ、経験を重ね尽力してまいります。

本日、社会人として新たなスタートを切った私たちはまだまだ未熟であり、1日でも早く地域に貢献する人財となるために知識や技術を身につけ、経験を重ねていく必要があります。何事にも全力で取り組み、常に学ぶ姿勢を持って邁進してまいりますので、役員の皆さまをはじめ、先輩社員の皆さまにはご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本日頂いた激励のお言葉と決意を忘れることなく、東北電力ネットワーク社員としての誇りと使命感を胸に、職務を遂行してまいります。東北の発展とさらなる成長のために様々なことに挑戦し続けることをお誓いし、新入社員代表の言葉とさせていただきます。

2021年4月1日　新入社員代表　　小野寺　碧